

みずほCustomer Desk Report 2017/12/04号(As of 2017/12/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.49
TKY 9:00AM	112.59	1.1898	133.94	GBP/USD	1.3531
SYD-NY High	112.87	1.1940	134.37	AUD/USD	0.7639
SYD-NY Low	111.40	1.1851	132.92		1.3445
NY 5:00 PM	112.29	1.1900	133.46		1.3485
NY DOW	24,231.59	▲ 40.76	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	6,847.59	▲ 26.39	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,642.22	▲ 5.36	米国2年債	1.7761	▲ 1.19bp
日経平均	22,819.03	94.07	米国5年債	2.1186	▲ 2.31bp
TOPIX	1,796.53	4.45	米国10年債	2.3624	▲ 5.17bp
ソコ日経先物	22,655	▲ 225	独10年債	0.3625	▲ 0.20bp
ロンドンFT	7,300.49	▲ 26.18	英10年債	1.2310	▲ 9.80bp
DAX	12,861.49	▲ 162.49	豪10年債	2.5255	2.60bp
ハンセン指数	29,074.24	▲ 103.11	USDJPY 1M Vol	8.38	0.41%
上海総合	3,317.62	0.43	USDJPY 3M Vol	8.61	0.43%
NY金	1,282.30	5.60	USDJPY 6M Vol	8.99	0.24%
WTI	58.36	0.96	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	190.69	1.51	EURJPY 3M Vol	8.09	0.29%
ドルインデックス	92.89	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	8.89	0.16%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月1日	8:30	日 CPI/コア/コアコア(前年比)	10月 0.2%/0.8%/0.2%	0.2%/0.8%/0.2%
	10:45	中 Caixin製造業PMI	11月 50.8	50.9
	18:00	欧 マークイット製造業PMI-確報	11月 60.1	60.0
	18:30	英 マークイット製造業PMI	11月 58.2	56.5
	23:45	米 マークイット製造業PMI-確報	11月 53.9	54.0
12月2日	0:00	米 ISM製造業景況指数	11月 58.2	58.3

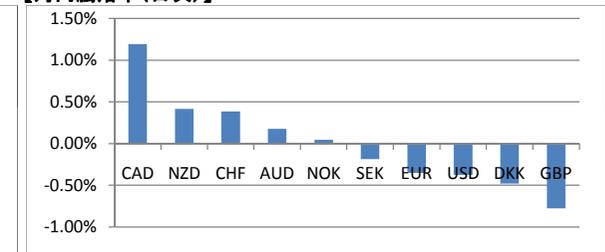
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月5日	0:00	米 耐久財受注-確報(前月比)	10月 -1.0%	-1.2%
	0:00	米 耐久財受注/除く輸送用機器-確報(前月比)	10月 -	0.4%
	0:00	米 製造業受注指数	10月 -0.4%	1.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.30	1.1800-1.1900	133.50-134.50

【マーケット・インプレッション】

先週の海外市場は、米税制改革法案への期待感から、ドル円は112円半ばで底堅く推移。その後、フリン前米大統領補佐官がFBIの虚偽の報告をした罪を認め、司法取引でトランプ米大統領がロシアとコンタクトをとるよう指示したと証言する可能性との報道に111円半ばまで急落。しかし、米税制改革法案への期待感も根強く、112円台をすぐに回復。本日は、米税制改革法案が週末に上院を通過で、日本政府も法人税を実質20%に引き下げとの報道もあり、ドル円は底堅く推移するものと予想する。

東京	東京時間オープン前に一時112.69をつけたものの、さらなる上値追いの流れとはならず小幅反落する展開。その後、本邦10月CPIが発表され、前年比+0.8%と市場予想通りの結果に市場の反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は112.59レベルでオープン。前日海外時間の株高の流れを引き継ぎ、日経平均株価が高寄り後に一時前日比200円超の上昇幅となるも、その後急速に上げ幅を縮小する動きを横目にドル円は112.35近辺まで下落。その後、中国Caixin製造業PMIが発表されるも市場の反応は乏しく、午後にかけては日経平均株価の反発とともにドル円も徐々に買い戻される動きとなった。結局、112.60レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロ円は133.94レベルで東京時間オープン、ユーロドルが堅調推移する中、ドル円の反発とともに上昇する展開となり、前日高値(134.15)を上抜けると一時134.29をつけ、134.23レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.60レベルでオープン。この日のロンドン時間夕方に予定されている米上院での米税制改革法案の採決を待ちながら112円台前半で様子見。112.38レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.3525レベルでロンドン時間オープン。英国とEUの離脱制裁金は合意したとの一部報道に離脱交渉懸念が後退し、本日朝方も強含み推移し1.3542を付けた。しかし、その後は米税制改革法案の上院での成立期待が徐々に強まるにつれ、ドル買いが優勢となりポンドの上値は抑えられる形となり、1.3492レベルでニューヨークへ渡った。(00532 444 179 ロンドン・トルラー 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.38レベルでオープン。朝方は、ドル買いが継続したことからドル円はじり高で推移。発表された米11月ISM製造業景況指数は予想を若干下回ったものの、予想範囲内の結果にドル円の反応は限定的となった。その後は米金利が上昇する動きにドル円は一時高値となる112.87まで上昇するも、前大統領補佐官でロシア疑惑でFBIに虚偽の発言をしたことで立件されているフリン氏が司法取引で罪を認め、「トランプ大統領がロシアと連絡を取るよう指示したと証言する可能性」と米メディアが報じたことから米金利、米株式市場が急落する展開にドル円は111.40まで急落する。しかし、売り一巡後は税制法案が上院の本会議での可決を期待する向きに株式市場が下げ渋り、112.30まで反発。午後に入り、トランプ大統領の娘婿であるクシュナー氏がフリン氏にロシアを含む外国大使とコンタクトを取るよう指示したと米通信社が報じたこともあり、上値は重く112.29レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1892レベルでNYオープン。朝方は、上院での法案可決に対する期待からドル買いが継続し1.1851まで下落するが、このレベルでは買い意欲も強く、またフリン氏のヘッドラインもあり1.1935まで急速に反発。午後は週末を控えていることや、上院での法案採決を控えて動きづらいつい展開が続き、1.1900レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山下・西谷